橋本育英福祉基金

令和４年度 第１回運営委員会資料

● 岩見沢市育英福祉基金の概要① ・・・・・・・ Ｐ１
● 岩見沢市育英福祉基金の概要② ・・・・・・・ Ｐ２
● 基金の運用状況推移 ・・・・・・・・・・・・ Ｐ３
● 基金充当事業の年度別推移 ・・・・・・・・・ Ｐ４
● 充当事業のうち福祉事業の概要 ・・・・・・・ Ｐ５
● 令和４年度充当事業について【福祉事業①】・・ Ｐ６
● 令和４年度充当事業について【福祉事業②】・・ Ｐ８
● 充当事業のうち育英事業の概要 ・・・・・・・ Ｐ９
● 令和４年度充当事業について【育英事業】・・・ Ｐ10
● 基金充当事業として考えられる事業 ・・・・・ Ｐ11

令和4年12月

岩見沢市育英福祉基金の概要①

1. 目　的（基金条例第１条）

当市の育英及び社会福祉事業推進の財源となる基金の設置、及び運営について、必要な事項を定めることを目的とする。

2. 基金とする財産（基金条例第3条）

(1) 宅地　（昭和49年7月　橋本カタ 様から　寄附）

岩見沢市3条西2丁目11番地の1	1,048.16㎡
岩見沢市3条西2丁目11番地の2	522.08㎡
岩見沢市4条西2丁目 1番地の1	319.96㎡
岩見沢市4条西2丁目 1番地の2	159.37㎡
計	2,049.57㎡

(2) 現金（令和3年度までの累計）

（単位：円）

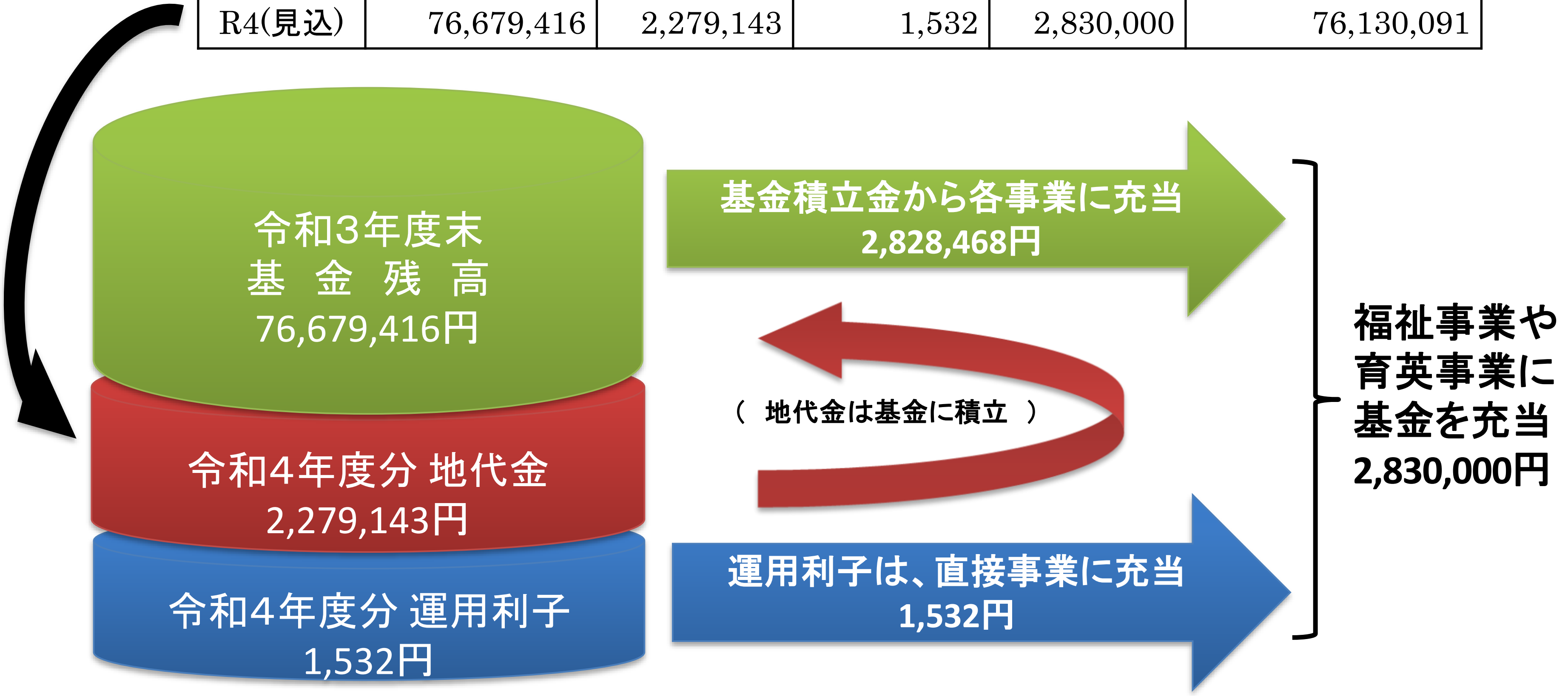
収　入　①			支　出　②	現在額（①－②）
権利金	地代金	運用収入	取崩し	
35,960,000	188,881,754	19,976,230	168,138,568	76,679,416

岩見沢市育英福祉基金の概要②

3. 令和3年度末基金の状況及び令和4年度見込

（単位：円）

年　度	前年度末残金 ①	地代金 ②	運用利子 ③	事業充当額 ④取崩し	基金現金累計 （①＋②＋③－④）
R3	78,191,394	2,313,459	1,563	3,827,000	76,679,416
R4(見込)	76,679,416	2,279,143	1,532	2,830,000	76,130,091



基金の運用状況推移

（単位：円）

年　度	前年度末現金 ①	収　入				支　出	基金現金累計 （①+②+③−④）
		地代金 ②	運用利子 ③	（平均利率）	計 ②＋③	取崩し ④	
H29	79,343,842	2,447,960	7,912	(0.010%)	2,455,872	2,462,912	79,336,802
H30	79,336,802	2,413,746	7,910	(0.010%)	2,421,656	2,651,656	79,106,802
R1	79,106,802	2,313,459	7,975	(0.010%)	2,321,434	3,242,000	78,186,236
R2	78,186,236	2,313,459	4,699	(0.006%)	2,318,158	2,313,000	78,191,394
R3	78,191,394	2,313,459	1,563	(0.002%)	2,315,022	3,827,000	76,679,416
R4（見込）	76,679,416	2,279,143	1,532	(0.002%)	2,280,675	2,830,000	76,130,091

基金充当事業の年度別推移

（単位：円）

年度	充当金額 合計	充当事業			
		福祉事業① （ブックスタート事業）	福祉事業② （あそびの広場運営事業）	福祉事業③ （健康経営推進事業）	育英事業 （国際交流推進事業）
H29	2,462,912	1,524,000			938,912
H30	2,651,656	1,521,000	230,000		900,656
R1	3,242,000	1,484,000	929,500		828,500
R2	2,313,000	1,443,000		627,000	243,000
R3	3,827,000	1,242,000	1,980,000	605,000	0
R4(見込)	2,830,000	1,150,000		550,000	1,130,000

充当事業のうち福祉事業の概要

年　度	基金充当額	事業名	事　業　概　要
H29	1,524,000	ブックスタート事業	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
H30	1,751,000	ブックスタート事業　1,521,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		あそびの広場運営事業　230,000	遊具拡充（サイバーホイール２個購入）※基金取崩し
R1	2,413,500	ブックスタート事業　1,484,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		あそびの広場運営事業　929,500	遊具拡充（エアトラック１個購入）※基金取崩し
R2	2,070,000	ブックスタート事業　1,443,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		健康経営都市推進事業　627,000	健康づくりの絵本（６００冊：小学校１年生）
R3	3,827,000	ブックスタート事業　1,242,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		あそびの広場運営事業 1,980,000	遊具拡充（木質系知育型遊具等購入）※基金取崩し
		健康経営都市推進事業　605,000	健康づくりの絵本（６００冊：小学校１年生）
R4（見込）	1,700,000	ブックスタート事業　1,150,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		健康経営都市推進事業　550,000	健康づくりの絵本（５００冊：小学校１年生）

令和4年度充当事業について【 福祉事業 ① 】

ブックスタート事業　　予算額　137万円（うち基金充当額　115万円）

【事業の内容】

「ブックスタート・パック」

絵本の世界を親子で共有し、心触れ合うきっかけづくりのために、０歳児とその保護者を対象として、８・９か月児健診時に絵本を開く楽しい体験とブックスタート・パックを贈ります。

ブックスタートパック受渡状況

※（カッコ）内の数値は見込の人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3	誕生月	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	330
	人数	31	32	28	25	26	28	26	27	22	27	30	28	
R4	誕生月	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	307
	人数	33	32	21	24	26	35	20	22	(23)	(24)	(21)	(26)	

「ベビカフェ」

ブックスタートのフォローアップ事業として、３歳未満の乳幼児とその保護者を対象として図書館司書・保育士・保健師がそれぞれの専門性を生かし、絵本と出会って間もない赤ちゃんが、絵本を通して親子の触れ合いを深め、将来にわたって多くの本に親しみながら成長していけるように、家庭での読書と親子の健康、子育て相談を一体化させた子育て支援を行う。

実施内容

例年、7月、11月、3月の年3回、乳幼児を対象とした読み聞かせや絵本の紹介、保健師や保育士による子育て、健康相談等

・絵本の紹介（図書館職員）　・絵本読み聞かせ（ボランティア）　・親子のスキンシップ遊び（保育士）

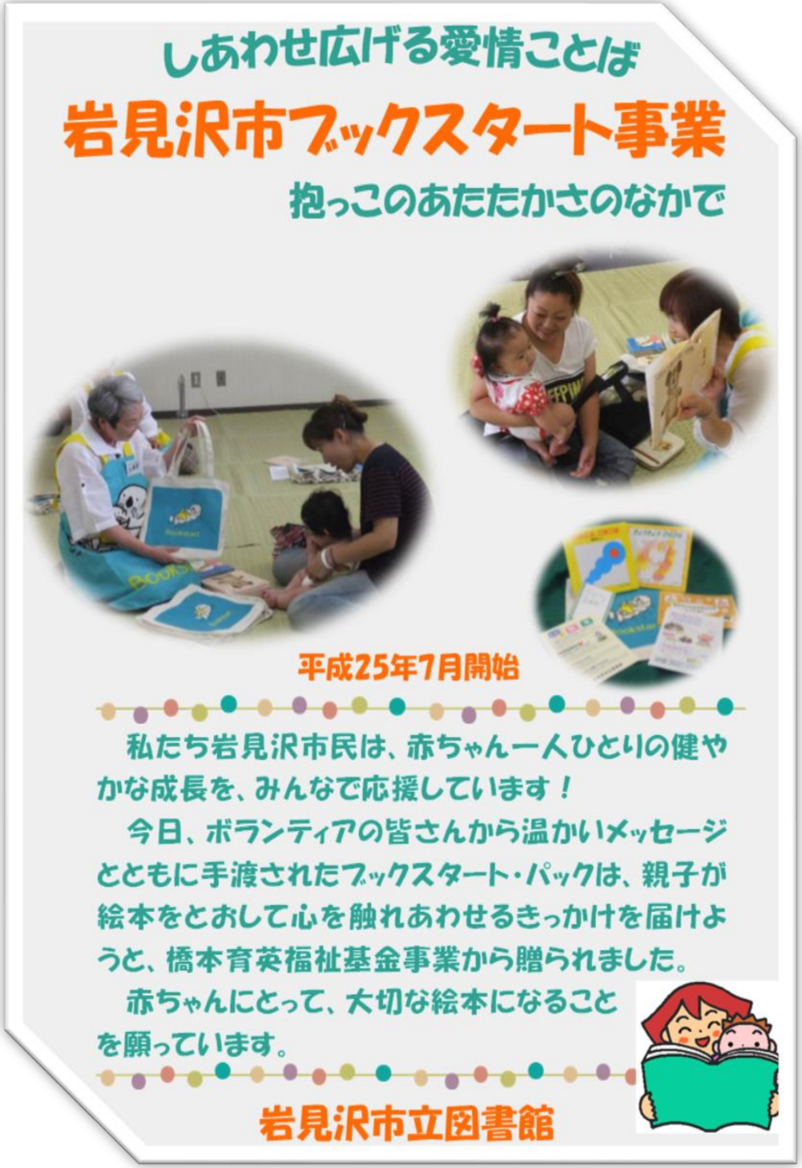
・自由遊び、育児・健康相談等（保育士、保健師、図書館職員、ボランティア）

ベビカフェの開催模様

令和４年度 ブックスタート絵本

Ｒ４年４月～Ｒ４年１２月　配布	Ｒ５年１月～Ｒ５年３月　配布
対象児：Ｒ３年７月１日生 ～Ｒ４年４月１日生	対象児：Ｒ４年４月２日生 ～Ｒ４年６月３０日生
『ぽんぽんポコポコ』 作／長谷川義史 金の星社 	『バナナです』 作／川端誠 文化出版局
『ぎゅう ぎゅう ぎゅう』 おーなり由子／文 はた　こうしろう／絵 講談社刊 	『ぎゅう ぎゅう ぎゅう』 おーなり由子／文 はた　こうしろう／絵 講談社刊

絵本２冊 ／ 岩見沢市ブックスタート事業のチラシ
親子ひろばマップ ／ アドバイスブックレット
赤ちゃん用ブックリスト「はじめての絵本」 ／ おもいでノート
図書館パンフレット ／ 赤ちゃん向け 図書館行事チラシ
ブックスタート布製バッグ



令和4年度充当事業について【 福祉事業 ② 】

健康経営都市推進事業　　予算額　2,514万円（うち基金充当額　55万円）

健康づくりの絵本の配付

小学校1年生から使える、健康づくりをテーマとした絵本を配付

【目的】

- 親子で健康への関心を持つきっかけづくり
- 子どもに正しい生活習慣を身につけるための教材として、学校や児童館等での幅広い活用を通じ、子どもから父母、祖父母にもアプローチし、大人の生活習慣の改善にも繋げる

【絵本構成】

- **テーマ**
  子どもの元気で健康な一日
- **元気で健康になるポイント**
  ①早起きをする　②朝食を食べる
  ③学ぶ　④体を動かす　⑤早く寝る
  ⑥歯みがきをする　など

【効果】

①親子で健康への関心を持つ契機となる
②小学1年生が理解できる内容にすることで、高学年、大人にも使える
③子どもだけではなく、大人の行動変容にも繋がる

【小学１年生に配付】

1年生から高学年
大人まで活用

＊この絵本は、橋本育英福祉基金を活用して印刷されたものです。

充当事業のうち育英事業の概要

姉妹都市との相互交流

◎充当優先順位

第１　中高生姉妹都市派
　　　（ポカテロへ派遣）
第２　国際交流推進
第３　国際交流員招致

昭和60年5月20日米国アイダホ州ポカテロ市と姉妹都市提携調印
・同年より毎年、青少年国際交流による中高生訪問の派遣始まる
・昭和62年からポカテロ市からの青少年訪問団が来訪
・昭和60年の提携から今年で37年間 460人を派遣
※10代での海外経験はとても貴重な経験となり、広げた視野が国際的感覚を備えた人材育成へとつながっている。

姉妹都市との相互訪問の推移

（単位：人）

訪問先	年度	S60～H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
ポカテロ市へ派遣	中高生	231	10	11	10	0	0	4	266
	大人	189	1	1	1	0	0	2	194
ポカテロ市から訪問	中高生	248	7	10	9	0	0	0	274
	大人	164	2	1	2	0	0	0	169

充当金額の推移

（単位：万円）

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4（見込）
予算額	865	944	885	732	1,067	1,019
充当金額	93	90	83	24	0	113

令和4年度充当事業について【 育英事業 】

国際交流推進事業　　予算額　1,019万円（うち基金充当額　113万円）

【事業の内容】

◎ 姉妹都市をはじめとする諸外国との交流を推進し、岩見沢市と姉妹都市の米国アイダホ州ポカテロ市へ中高生の訪問団を派遣し、市民との交流を深める。

・日　程　　７月２７日～８月１１日
・人　員　　６人（うち２人は市職員）

○ 訪問団員募集

・募集期間　４月１１日～５月６日

◎ ポカテロ市から大人の訪問団を受入れ、市民との交流を図る。

・日　程（予定）　７月３日～７月１８日
・人　員（予定）　１３人（うち団長２名）

訪問団の受入れは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止による入国制限のため中止

メッサフォールズにて

ポカテロ市役所にて

乗馬体験

基金充当事業として考えられる事業

区分	対象者	事業名	事業予算（R5年度予定）	充当額配分予定額	配分割合	事業内容
R5充当事業（案）	育英事業 中学・高校生	継続 国際交流推進事業	995万円	122万円	40%	姉妹都市の米国アイダホ州ポカテロ市へ中高生訪問団を派遣し、交流を深める費用の一部を補助
	福祉事業 小学1年生	継続 健康経営都市推進事業	2,538万円	取崩 72万円	23%	小学1年生に健康づくりをテーマとした絵本を配付
	福祉事業 親と乳幼児	継続 ブックスタート事業	133万円	113万円	37%	乳幼児健診時に絵本・読み聞かせアドバイス集などをブックスタートパックとして贈呈 ※R5はR4.7月以降に誕生した子
	計		3,666万円	307万円	100%	

区分	対象者	事業名	事業予算（R4年度）	充当額配分予定額	配分割合	事業内容
R4充当事業	育英事業 中学・高校生	継続 国際交流推進事業	1,019万円	113万円	40%	姉妹都市の米国アイダホ州ポカテロ市へ中高生訪問団を派遣し、交流を深める費用の一部を補助
	福祉事業 小学1年生	継続 健康経営都市推進事業	2,514万円	取崩 55万円	19%	小学1年生に健康づくりをテーマとした絵本を配付
	福祉事業 親と乳幼児	継続 ブックスタート事業	137万円	115万円	41%	乳幼児健診時に絵本・読み聞かせアドバイス集などをブックスタートパックとして贈呈 ※R4はR3.7月以降に誕生した子
	計		3,670万円	283万円	100%	

ブックスタート事業

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　4 質の高い教育をみんなに

事業の目的　赤ちゃんと保護者が、絵本を通して心触れ合うきっかけを作ります。

事業の概要　赤ちゃんと保護者を対象に、一緒に絵本を開く楽しさを伝えるとともに、ブックスタートパックを贈ります。
また、３歳未満の乳幼児を対象に読み聞かせや絵本の紹介などを行う「ベビカフェ」を実施します。

事業開始年　平成25年度

【見直し等の経過】
平成25年　7月　ブックスタート事業開始
平成25年11月　フォローアップ事業として、ベビカフェを実施
（以降、ベビカフェは年3回開催）

赤ちゃんと絵本を開く喜びを分かち合います

○「ブックスタート」は、すべての赤ちゃんと保護者に、絵本と共に、一緒に絵本を開く楽しい時間を届ける活動です。
○「ベビカフェ」は、市立図書館で年に数回開催されます。
○親子で本に親しむひと時が、赤ちゃんの健やかな成長につながります。

【事業実績】

		R2年度	R3年度	R4年度（10月末まで）
ブックスタート	実施回数	12回	12回	7回
	参加人数	396人	330人	176人
	配布率	100%	100%	100%
ベビカフェ	実施回数	2回	3回	1回
	参加者数	36人	58人	18人

※配布率は、ブックスタート対象の赤ちゃん数に対するパック配布数

8・9か月健診時に行います

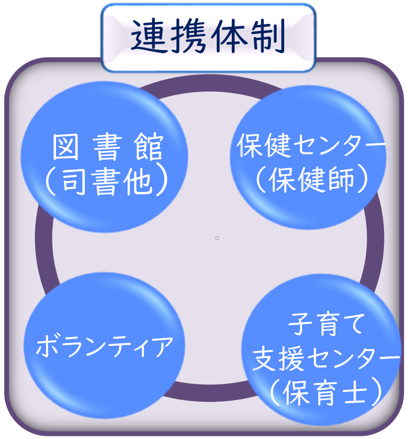
保健センターから対象の赤ちゃんに案内をお送りしています。

NPOブックスタートについて

ブックスタート事業は、民間の非営利組織「NPOブックスタート」の支援のもとで実施されています。NPOブックスタートは、絵本が親子のふれあいをもたらすという理念のもと、ブックスタートを実施する自治体に廉価で絵本を提供しています。

ブックスタートパックの内容
・絵本2冊　・布製バッグ
・アドバイスブックレット集
・絵本の選び方

ブックスタートパックは橋本育英福祉基金を財源として購入しています。



図書館職員、保健師、保育士が主体となりボランティアの皆様と共に築く事業です

根拠法令：

関連計画：

令和５年度予算額　133万円

健康経営都市推進事業

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　3 すべての人に健康と福祉を

事業の目的　「人もまちも企業も元気で健康」な地域社会の形成に向け、産学官金の連携により、健康経営都市を推進します。

事業の概要　産学官金の連携のもと、生活・健康づくりのサービスを提供するための基盤構築をはじめ、「農・食・健康」の連動による産業の創出に向けた取組みを進めます。

事業開始年度　平成29年度

平成28年6月　健康経営都市宣言

「人もまちも企業も元気で健康」をテーマに、地域の健康管理の目的を「医療や介護予防」から「健康で生きがいを持って暮らせる地域創出」へと変革させていく考え方。

特定非営利活動法人健康経営研究会により、平成28年6月に全国の自治体として初めて認定された。

事業名	項目	R１	R2	R3
北大COI 地域健康講座	実施回数	5回	3回	2回
	参加者数	380人	61人	89人
健康ひろば	来場者数	15,910人	6,813人	9,332人
	うち健康チェック	1,723人	718人	471人

●平成29年度～

【新しい地域】生活・健康づくりのサービスを提供するための基盤構築を目指した取組み

【新しい生活】健康予報システムの構築・拡充や市民・企業向けのサービス提供に向けた検討
北大COIと連携した健康コミュニティの推進

【新しい産業】農・食・健康を連動させた新商品開発に向けた検討

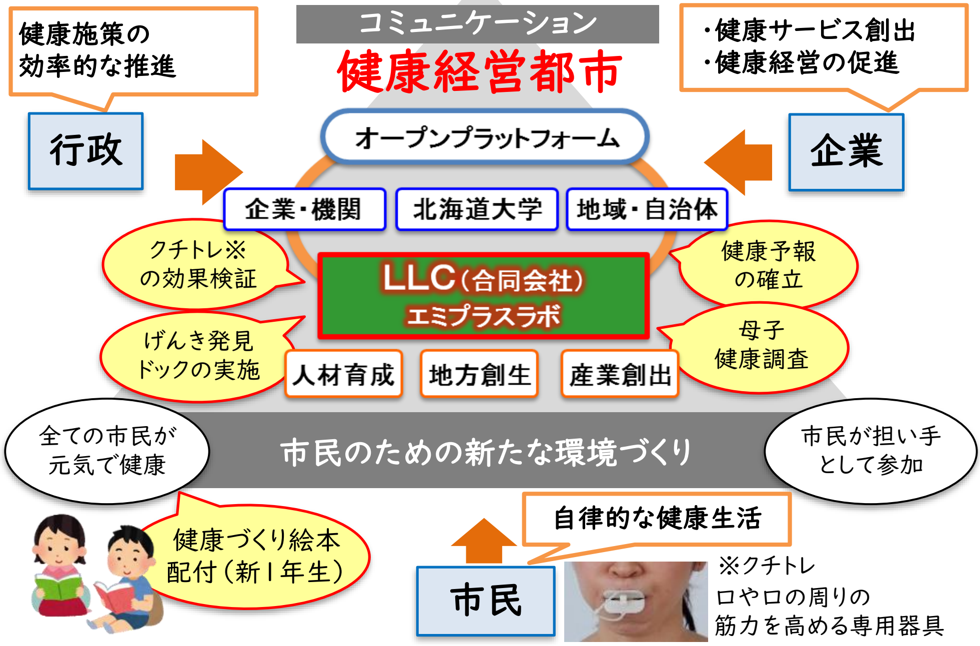
●令和元年度　げんき発見ドック※の開始
※従来の「管理」のための健康診断から自分の「げんき」を「発見する」ポジティブな健康づくりのための取組み

●令和3年度　母子健康調査をはじめとした妊娠期から出産、子育てを継続的にサポートする子育て支援施策や産学官が連携して市民意識や行動変容を促す取組みが評価され、プラチナ大賞を受賞

少子高齢化の進展に伴い、公的社会保障（いわゆる「まもる」基盤）だけではなく、人々の暮らしを支えていくため、「つくる」、「つなぐ」という新しい視点を加え、地域独自の社会保障基盤の構築を目指しています。

3つの「新」でつくる「健康経営都市」

新しい地域	新しい生活	新しい産業
生活・健康づくりサービス提供のための基盤（オープンプラットフォーム）構築	健康予報システムのサービス化に向けた取組み	農・食・健康を連動させた新しい健康関連産業の創出



根拠法令：

関連計画：岩見沢市健康増進計画、岩見沢市地域福祉計画、岩見沢市総合戦略

令和５年度予算額　２，５３８万円

健康福祉部健康づくり推進課

国際交流推進事業

事業の目的　国際性豊かな地域社会を目指し、世界に開かれた活力のあるまちづくりを推進します。

事業の概要　姉妹都市であるアメリカ合衆国アイダホ州ポカテロ市への訪問団派遣をはじめ、諸外国との交流の推進や国際交流員（ＣＩＲ）の招致などに取り組みます。

事業開始年度 昭和60年度

【事業の経過】
S60.5.20 米国アイダホ州ポカテロ市と姉妹都市提携

姉妹都市交流事業

市民の国際感覚の醸成と多文化に触れる機会の提供
- 毎年10名前後の中高生が相互訪問
- 5年毎に姉妹都市提携の周年記念として大人による相互訪問

[姉妹都市ポカテロ市の中高生訪問団派遣状況]　（単位：人）

訪問先	~H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
中高生	244	-	11	11	12	11	-	-	6	295
大人	153	12	-	-	-	-	中止	中止	-	165

※R2、R3年度はコロナウイルス感染症拡大防止のためポカテロ市への派遣中止

訪問旅費の一部に橋本育英福祉基金を活用しています。

国際交流員（CIR）の招致

- 市内の国際交流団体向け英会話教室のほか、保育園や町内会等で海外文化を伝えるレッスンや講演
- 市内の学校を訪問し、児童生徒に海外文化を紹介する授業の実施
- 外国人住民への窓口対応の補助（通訳・翻訳）
- 市民向け多文化理解講座の開催
- 英語版生活ガイドブックの作成
- SNSによる情報発信

市内国際交流団体との連携

- 各団体総会、行事への参加
- 姉妹都市交流、市主催行事への協力要請

根拠法令：

関連計画：

令和５年度予算額　９９５万円

総務部庶務課